

連携提案：特別な教育的ニーズのある子ども（病気や障害のある子ども）の自尊感情と学習支援

キーワード： 特別支援教育 自尊感情 学習支援 認知機能 発達障害 慢性疾患

大学院学校教育研究科 発達支援・心理臨床教育学系 教授 八島 猛 Yashima Takeshi

連携提案内容と効果

- 病気や障害のある子どもたちは心の健康問題を生じやすいことがわかっています。また、こうした子どもたちは、認知面の偏りや身体面の制限によって、学習活動に困難さを抱えていることがあります。
- 学習活動の困難さは、勉強に対する自信や意欲の低下にとどまらず、自尊感情や自己肯定感のような自分の存在に対する自己評価にネガティブな影響を与え、健康状態を脅かす可能性があります。
- 今回提案する連携では、特別な教育的ニーズのある子どもの学習活動ならびに健康状態を支え、促すことを目的として、図1に示した理論モデルを手掛かりに、個々の子どもの状態像に応じた学習支援を考案・実施します。
- これまでに、いくつかの事例研究をとおして、この理論モデルに基づく学習支援が、対象者の学習意欲や自尊感情の改善に役立つことを示す結果が得られており、知見の蓄積が必要です。

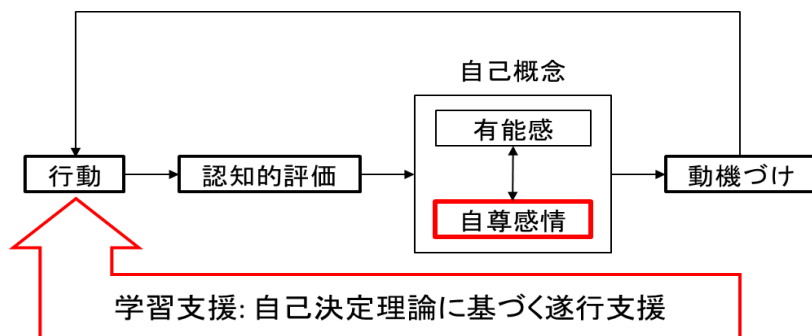


図1 手掛かりとする理論モデル

アピールポイント

- 自尊感情や学習意欲など、目には見えない子どもたちの内面の変化を捉える学習評価の方法について検討・提案します。
- アセスメントと実践を通じて、子ども自身にとって学びやすい学習方法を検討・提案します。

連携したい分野

- 発達障害、慢性疾患（心疾患、神経筋疾患等）のある子どもが在籍する幼稚園・学校
- 入院病棟のある医療機関
- 発達障害や慢性疾患のある子どもの学習支援や発達支援を研究テーマとする研究者

研究テーマ：病気や障害のある子どもの自尊感情の発達と支援に関する研究



プロフィール	専門分野	特別支援教育
○ 博士（教育学）（東北大学） ○ 教育現場（養護学校教諭5年）と医療・福祉現場（国立病院機構児童指導員7年）での勤務経験があります。	主な研究内容	○ 慢性疾患児の自尊感情の発達と支援 ○ 重症心身障害児のコミュニケーション支援 ○ 障害理解のための教材開発

関連する業績等

- ・ 青年初期の病弱児における自己評価の発達特性に関する横断的研究. 特殊教育学研究 56, p. 257-267, 2019.
- ・ 超重症児の感覚系に注目した身体的な運動及び生理的反応を促す指導とその評価. 特殊教育学研究 58, p. 117-126, 2020.
- ・ 特別支援教育専攻学生対象の障害理解のための教材開発（9）—超重症児、重度・重複障害児の教育と評価に関する教材—. 東北福祉大学教育・教職センター特別支援教育研究年報（16）, p. 35-49, 2024.

お問い合わせは、八島 研究室 yashima@juen.ac.jp